

北区自治協議会 部会会議概要

地域づくり部会 p. 1

福祉教育部会 p. 2-3

自然文化部会 p. 4

第 15 回 地域づくり部会 会議概要

日 時	平成 30 年 8 月 16 日（木曜） 午後 3 時 30 分から午後 5 時
会 場	豊栄地区公民館 視聴覚室
出席委員	本間（久）部会長、阿部（恵）副部会長、阿部（康）委員、阿部（淳）委員、五十嵐（隆）委員、川島委員、倉島会長、小林委員、本間（藤）委員、山賀委員
欠席委員	上松委員
事務局 関係課	建設課長、産業振興課長、区民生活課長補佐、地域総務課（清水、高野、深沢）
会 議 要 旨	<p>1 平成 31 年度自治協議会提案事業について</p> <p>①区バッジ・ペンダントの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・⑤でステッカーなど作成予定なので兼ねては。 <p>②学びあい、健康で人にやさしいまちづくり（交通網整備について）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・便数より乗車人数を増やす PR が必要。乗降自由なバスにしては。 <p>③ノーザン ミュージック フェスティバル 2019</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の結果を踏まえて検討。次年度は今回会場で工事開始。 <p>④リノベーションまちづくり@ニイガタキタ！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的なイメージがあると理解しやすい。産業振興課及び建設課で関連する補助制度あるのでそちらも検討してみては。 <p>⑤北区みんなで見守り隊</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体はすでにいろいろあるので、それらをつなぐような取り組みがあればいい。①とっしょにできないか。 <p>2 平成 30 年度自治協議会提案事業について</p> <p>「ノーザンミュージックフェスティバル 2018」について</p> <p>阿部（淳）委員および事務局から、主な報告と情報交換を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8/30 実行委員会後団結会。クマガイマコト・ハンサムズ出演 ・ 9/5 民謡ながしの団扇の裏に広告 ・ 駐車場は豊栄総合体育館も使えるよう依頼済。 ・ 出演順は 9 月中旬に発表予定。 ・ 当日券発行は未定。 ・ チケットにホールステージの開演時間の記載がないため、チケットを渡す際に個々に説明。 ・ 当日は来場者にアンケートを行うこととする。

第 15 回 福祉教育部会 会議概要

日 時	平成 30 年 8 月 16 日 (木) 午後 3 時 30 分～午後 4 時 40 分
会 場	豊栄地区公民館 研修室 2
出席委員	渡邊 (正之) 部会長、若月委員、五十嵐 (紀子) 委員、工藤委員、曾我委員、高橋委員、村中委員、岡委員
欠席委員	梅津副部会長、真壁委員
事務局 関係課	健康福祉課長、豊栄地区公民館長、北区教育支援センター所長、北出張所長、地域総務課 (本田、吉澤、大久保、佐藤)
会議要旨	<p>1 平成 30 年度特色ある区づくり事業「区民の一体感醸成プロジェクトーみんなの区役所づくりー」について</p> <p>事務局より、当事業の今後の進め方について報告を行い、承認されました。 →ワークショップメンバーの人は、事務局から団体に推薦依頼を行うことになりました。</p> <p>[主な意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ開催時には、部会委員にも積極的に参加してほしい。 <p>2 平成 31 年度自治協議会提案事業について</p> <p>下記提案について、意見交換を行いました。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「つながりサロンの設置」(本間久文委員) について ②「高齢者等の健康診断時における健康指導の実施」(本間久文) について ③「健康づくりリーダーの育成」(本間久文委員) について ④「元気な高齢者の生きがい事業」(若月委員) について ⑤「定期健診時のママ・パパ応援講座『子は親の鏡』～心身ともに健康な子どもに育てよう～」(梅津委員) について <p>[主な意見]</p> <p>①②③④について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①②③④は、いずれも地域の茶の間の活動のなかで、整理検討できるのではないかと。また新潟医療福祉大学との連携も考えられると思う。 ・すでに大学では類似した事業を展開している。参加したくてもなかなか踏み出せずにいる学生等向けに、「新しい枠組み」をつくるのはどうか。 <p>④について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアに頼るばかりでは事業が続かない。事業の継続のため、職員配置等を求めたい。

- ・市として職員を減らす方向にあるなかで、逆行しているように感じる。
- ・市としては、既存の地域の茶の間や自主グループを推進している。

⑤について

- ・8月6日に乳児健診を視察してきた。母子ともに精一杯の様子で、講座を受講する余裕がないように思う。
- ・非認知能力に対する気づきを促すことは大切だが、手段や時期を再検討する余地があるのではないか。
- ・テキストづくりを先行すべきでは。公民館や教育支援センターが作成に関わるのもよいと思う。
- ・健診の様子を見ると、親が心配している事項と必ずしも合致していないように感じた。
- ・公民館でも「ゆりかご学級」を開催している。スマホに関することに留まらず、連続した当講座を受講することで親子の良好な関係を築くものだ。当提案とは方向性が異なるかもしれない。
- ・若い親の情報収集は、基本的にスマホだ。テキスト等印刷物も大事だが、ホームページを作成するのも効果的ではないか。
- ・誰にどうやって伝えるか、ターゲットを明確にすることが必要では。

その他

- ・①②③④⑤いずれも健康福祉課が深く関わっている。課内で検討してもらえないか。

第 16 回 自然文化部会 会議概要

日 時	平成 30 年 8 月 16 日（木曜） 午後 3 時 40 分～午後 4 時 00 分
会 場	豊栄地区公民館 2 階 第 1 研修室
出席委員	若尾部会長、阿部（美）副部会長、赤間委員、松田委員、川居委員 渡邊委員、内川委員、後藤委員
欠席委員	高口委員
事務局 関係課	区民生活課長、産業振興課（西脇）、地域総務課（宇野、貝瀬）
会 議 要 旨	<p>1 平成 30 年度福島潟の魅力発信事業について</p> <p>今年度事業案として、『河童のユウタの冒険』の紙芝居の作成や、小中学校へ本を寄贈する案について検討しました。</p> <p>〔主な確認事項〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙芝居を作成するには、原作者の許可が前提となるため、その確認を先にする必要がある。 ・8月19日開催、みずつち座談会「福島潟の“河童のユウタ”に会おう」に登壇する挿絵作家に対し、委員が参加して提案してみる。 ・小中学校への本の寄贈は、予算の範囲で実施してもよい。 <p>2 平成 31 年度 自治協議会委員提案事業について</p> <p>建設課より福島潟河川改修事業の進捗状況について情報提供を受け、提案された下記事業案について意見を出し合いました。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①グラウンドゴルフのための広場整備（高橋正寿委員提案） ②定期的な音楽教室の開催（本間久文委員提案） ③福島潟活用のためのワークショップ（山賀委員提案） ④福島潟周遊散策コース検討（若尾部会長提案） <p>〔主な意見〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①については、河川敷広場など利用可能な場所の情報を提供してはどうか。他の競技とのバランスもあり、広場整備は難しいだろう。 ・②については、子どもたちの感性を育む意味でも趣旨は意義深い、プロの楽団は多額の予算が必要となる。北区文化会館の既存事業に絡めて、区内小学生をコンサートに招待する方法が現実的。学校現場のニーズを確認し検討できれば良い。 ・演奏者が学校に出向くアウトリーチは、音楽に親しむというより楽器や演奏者と触れ合うことが主となっていたようだ。②の趣旨とは異なるかもしれない。 ・③と④については、福島潟の活用として共通する部分がある。周遊コースの検討を含め、双方の案をあわせてワークショップで様々な案を検討できると良い。 ・ラムサール条約の趣旨に合うワイズユースの検討もできると良い。